

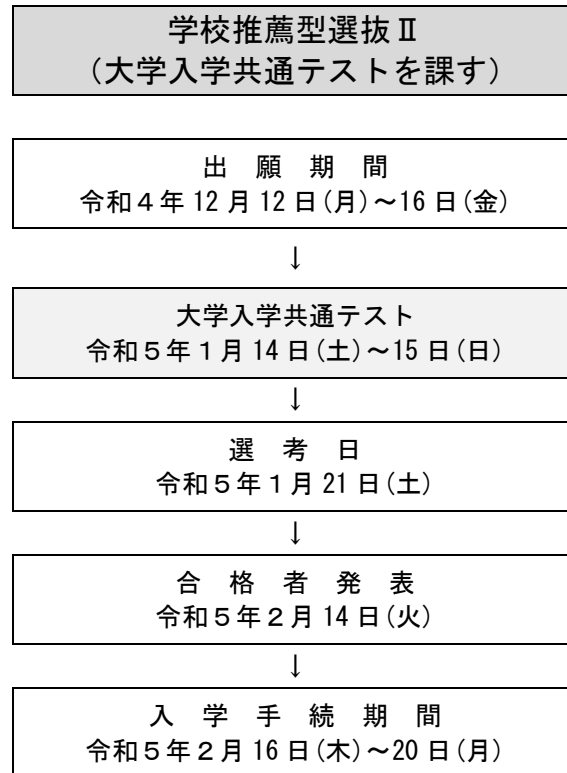
令和5年度
教育学部
学校推薦型選抜Ⅱ
学生募集要項

令和4年9月



令和5年度福井大学教育学部学校推薦型選抜Ⅱ 日程の概要

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合も含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部に限られるので注意してください。



〈注意事項〉

- ・入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。

【福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>】

- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。

目 次

I. アドミッション・ポリシー（教育学部）	1
1. 教育学部で養成する人物像	1
2. 求める学生像	1
3. 入学者選抜の基本方針	1
「新型コロナウイルス感染症対策のための注意事項」	5
「新型コロナウイルス感染症対応における受験可否の基準」	5
II. 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	
1. 募集人員及び出願資格	6
2. 推薦者数及び推薦要件	6
3. 出願方法	7
4. 障がいのある入学志願者等の事前相談	11
5. 選抜方法等	11
6. 合格者発表	14
7. 入学手続	14
8. 不合格となった場合の取扱い	15
9. 大学入学共通テストの利用教科・科目と個別学力検査の配点等	16
III. 個人情報の利用	17
IV. 入学志願者のための案内	18

I. アドミッション・ポリシー（教育学部）

（1）教育学部で養成する人物像

公教育の担い手として多様な人々と協働できる人
教科・領域の専門性を横断的、系統的に身につけている人
学識に支えられた指導力により子どもたちの学習・発達を支援できる人
生涯にわたって学び続けることができる人

（2）求める学生像

（2-1）求める学生像

高等学校などで身につけた基礎学力の上に立って、主体的・協働的に学ぶことができる人
人間の教育や心理に興味を持ち、初等・中等教育における各教科の教育に強い関心を抱いている人
子どもの成長を支えられる豊かな人間性と優れたコミュニケーション能力を有している人
教育への情熱や探究心を持ち、学校を中心とする地域・社会の諸課題に積極的に取り組んでいこうとする人

（2-2）入学前に学習しておくことが期待される内容

教育学部では、各自が専攻する教科・領域のみならず、高等学校段階までに学習する基礎的な知識・技能が十分身に付いていることを前提に専門教育を行います。また、学修の過程では、ものごとを多面的にとらえ、地域や学校における実践コミュニティの一員として、地域に参画し、他者と協働し、生涯にわたって学び続ける主体性も求められます。これらのことから、高等学校段階では、各教科内容はもとより、他者との協働的な活動などそれ以外についても幅広く学習し、視野を広げておくことを期待します。

（3）入学者選抜の基本方針

【一般選抜（前期日程）】

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、文系型・理系型の選抜では、選抜区分に応じた教科・科目の学力を重視した学力検査を実施し、専門分野の学習に必要な知識・能力を評価します。実技型（音楽）の選抜では、実技検査、実技型小論文及び個人面接（口述試験を含む。）を実施し、専門分野の学習に必要な知識・技能及び意欲を評価します。実技型（体育）の選抜では、実技検査、実技型小論文を実施し、専門分野の学習に必要な知識・技能及び意欲を評価します。

【一般選抜（後期日程）】

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、教育、文化、科学・技術、人間の発達に関わる課題を扱った小論文を課し、専門分野の学習に必要な論理的思考力や表現力を評価します。

【学校推薦型選抜Ⅰ】（大学入学共通テストを課さない）

○高大接続型（嶺南地域枠）

調査書、推薦書、志願理由書等により初等及び中等教育を学ぶための資質、適性を評価します。また、個人面接（プレゼンテーションを含む。）と集団討論により、目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

○実技型（技術）

調査書、推薦書、志願理由書等により技術科で学ぶ者に求められる資質・能力、適性を評価します。また、実技検査、実技型小論文及び個人面接（口述試験を含む。）により、基礎的技能の程度と技術教育への興味・関心、目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

【学校推薦型選抜Ⅱ】(大学入学共通テストを課す)

○面接型(総合)

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。調査書、推薦書、志願理由書等により、初等及び中等教育を学ぶための資質、適性を評価します。また、個人面接（プレゼンテーション及び口述試験を含む。）により、目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

○面接型(特別支援)

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。調査書、推薦書、志願理由書等により、特別支援教育を学ぶための資質、適性を評価します。また、個人面接（プレゼンテーション及び口述試験を含む。）により、目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

○面接型(家庭)

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。調査書、推薦書、志願理由書等により、初等及び中等教育を学ぶための資質、適性を評価します。また、個人面接（プレゼンテーション及び口述試験を含む。）により、家庭科教育に対する目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

○実技型(音楽)

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。調査書、推薦書、志願理由書等及び個人面接（口述試験を含む。）により、音楽及び音楽教育に対する理解や意欲について評価します。また、実技検査では、ピアノ、声楽、管弦打楽器の選択課題により、表現の技能及び音楽性を評価します。

【総合型選抜Ⅰ(高大接続型入試)】(大学入学共通テストを課さない)

○実技型(美術)

第1次選考では、プレゼンテーション（プレゼンテーションの資料作成・口頭発表）と提出書類（調査書、志願理由書、自己推薦書等）により、初等及び中等教育を学ぶための資質、適性、および基礎学力を総合的に評価します。

最終選考では、実技検査（基礎的な造形力を素描にて考査）と個人面接（口述試験を含む。）により、教育の諸課題に主体的に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の3要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜します。

入試区分	評価方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜(前期) 文系型・理系型	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査(教科)	○	○	
	調査書			○
一般選抜(前期) 実技型(音楽)	大学入学共通テスト	○	○	
	実技検査	○	○	
	実技型小論文	○	○	
	個人面接 ¹	○	○	○
	調査書			○

一般選抜(前期) 実技型(体育)	大学入学共通テスト	○	○	
	実技検査	○	○	
	実技型小論文	○	○	
	調査書			○
一般選抜(後期) 統合型	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	調査書			○
学校推薦選抜 I 高大接続型 (嶺南地域枠)	個人面接 ²	○	○	○
	集団討論	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
	資料 ¹	○	○	○
学校推薦選抜 I 実技型(技術)	実技検査	○	○	
	個人面接 ¹	○	○	○
	実技型小論文	○	○	
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦選抜 II 面接型(総合)	大学入学共通テスト	○	○	
	個人面接 ³	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦選抜 II 面接型 (特別支援)	大学入学共通テスト	○	○	
	個人面接 ³	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦選抜 II 面接型(家庭)	大学入学共通テスト	○	○	
	個人面接 ³	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦選抜 II 実技型(音楽)	大学入学共通テスト	○	○	
	実技検査	○	○	
	個人面接 ¹	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
総合選抜型 I	資料 ²	○	○	○

実技型（美術）	実技検査	○	○	
	個人面接 ³	○	○	○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
	自己推薦書		○	○

○ 重視する

個人面接¹ 口述試験を含む。

個人面接² プレゼンテーションを含む。

個人面接³ プレゼンテーション及び口述試験を含む。

資料¹ 高等学校時代の取り組みや活動を説明する資料

資料² 高等学校等での取り組みとその成果に関するレポートや作品資料

「新型コロナウイルス感染症対策のための注意事項」

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、試験場内では、昼食時を除き、必ずマスクを着用（鼻と口の両方を確実に覆うこと）してください。（アレルギー等やむを得ない理由でマスクの着用が困難な場合は、原則2日前までにその旨入試課まで申し出てください。）休憩時間や昼食時等の他者との接触、会話を極力控えるようにしてください。
- (2) 試験室への入退出を行うごとに、備え付けのアルコール製剤で必ず手指消毒を行ってください。
- (3) 試験室の換気のために窓の開放等を行う時間帯があります。
- (4) 昼食が必要な者は必ず持参してください。食事は黙食とし、自席で監督者の指示に従って食事をしてください。
- (5) 試験が終了しても試験場内ではマスクを着用し続けてください。マスクを取り替えた場合であっても、試験場内にマスクを廃棄しないでください。試験終了後は、各自寄り道などはせず、なるべくまっすぐ帰宅してください。帰宅後はまず手洗いやうがいを行ってください。

「新型コロナウイルス感染症対応における受験可否の基準」

以下の枠内記載の状態にある者は、受験できません。また、追試験は実施せず、検定料の返還も行いません。

なお、試験場における新型コロナウイルス感染症等の感染拡大を防止し、受験生が安心して受験できる環境を確保するために、発熱・咳等の症状がある者は、あらかじめ医療機関で受診するようにしてください。試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、基礎疾患等により重症化しやすい者が発熱・咳等の比較的軽い風邪の症状（※）がある場合の他、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合は、受験の可否について、かかりつけ医や「受診・相談センター」（地域により名称が異なることがあります。）に相談してください。

<受験できない者>

- ① 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊療養施設において療養中の者
- ② 試験日時点で保健所等から濃厚接触者に該当するとされている者
- ③ 海外から日本に入国して受験する場合、入国後の待機期間中（注）の者
- ④ ※の症状により、かかりつけ医等に相談の結果、受験を控えるよう診断された者

（注）『入国後の待機期間』については、外務省ホームページを参照願います。

II. 学校推薦型選抜 II (大学入学共通テストを課す)

1. 募集人員及び出願資格

課程	選抜区分	志願コース	募集人員	出 願 資 格
学校 教育 課程	面接型 (総合)	初等教育コース	10	次の①～③のいずれかに該当する者 ① 高等学校(特別支援学校の高等部含む)若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和5年3月に卒業見込みの者 ② 高等専門学校第3学年を修了した者又は令和5年3月に修了見込みの者 ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を修了した者若しくは令和5年3月修了見込みの者
		中等教育コース	4	
	面接型 (特別支援)	初等教育コース	5	
		中等教育コース	2	
	面接型 (家庭)	初等教育コース	1	
		中等教育コース	2	
実技型 (音楽)	中等教育コース	2		
	計	初等教育コース	16	
中等教育コース		8		

注1) 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

2) 入学手続者数が募集人員に満たない場合は、一般選抜(前期日程)からその不足分を充当します。

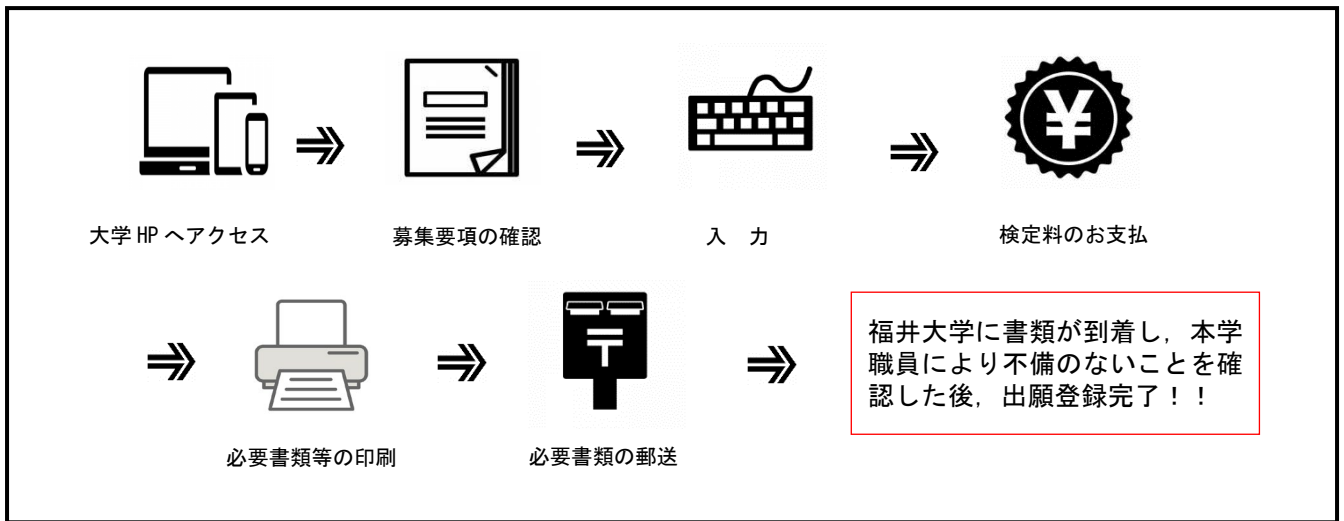
3) 面接型(総合)、面接型(家庭)の選抜区分においては、初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とし、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。

2. 推薦者数及び推薦要件

課程	選抜区分	志願コース	1校あたりの推薦者数	推薦要件	調査書の全体の学習成績の状況
学校 教育 課程	面接型 (総合)	初等教育コース	制限しない	次の各号に該当する者で、出身学校長が、本課程・コースの学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えていることを認め、責任をもって推薦できる者 (1) 本学が指定する令和5年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者 (2) 学業成績が優秀な者 (3) 合格した場合は入学を確約できる者	4.0以上の者
		中等教育コース			4.0以上の者
	面接型 (特別支援)	初等教育コース	制限しない		4.0以上の者
		中等教育コース	制限しない		4.0以上の者
実技型 (音楽)	中等教育コース	2人以内	3.5以上の者		

3. 出願方法

○インターネット出願の流れ



インターネット出願により行います。出願完了には下記 ①～④ のすべての手続が必要です。

インターネット出願サイトへは、福井大学ホームページ<<https://www.u-fukui.ac.jp/>>からアクセスできます。

No.	手 続	備 考
①	インターネット出願サイトでの出願情報の入力	出願情報入力可能期間（「出願情報入力可能期間」の内、「出願期間」前に入力した場合であっても、「出願期間」開始後に必ず必要書類を本学に郵送し、受付を完了してください。） ：令和4年12月5日（月）9時～12月16日（金）17時 ＊出願期間とは異なります。
②	検定料の支払い	検定料 17,000 円（別途支払手数料が必要です。） 検定料の詳細は、10 ページの「(3) 検定料の支払方法」を参照してください。
③	必要書類等の印刷	出願情報入力及び検定料の支払い後にダウンロードする書類は全て白色のA4用紙にカラーで印刷してください。
④	必要書類等の郵送	市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼り、書留速達郵便で郵送してください。 （郵送先）〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

（注）インターネット出願サイトでの入力及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了とはなりません。出願期間内に、次項に記載する出願書類を郵送（最終日17時必着）することで完了します。

（1）出願期間（令和4年12月12日（月）～16日（金）最終日17時まで必着）

書類の提出は、郵送（書留郵便）するものとし、出願手続期間内に必着とします。持参による出願は認めません。出願書類到着の照会には応じません。

インターネット出願サイトでの入力は、令和4年12月5日（月）から可能です。

※ 期間後に到着した出願書類のうち、出願期間最終日の2日以前の日付印がある書留速達郵便に限り受理します。

(2) 出願書類等

出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び検定料の返還には応じません。

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。

出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

○インターネット出願サイトから印刷するもの

出 願 書 類 等	留 意 事 項 等
出願確認票 (提出用)	インターネット出願情報入力後、申込確認ページよりA4サイズでカラー印刷し、提出してください。 (注) 印字されている内容に誤りがないか確認してください。 出願確認票は、検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了しないと印刷できません。
出願封筒用 宛名ラベル	インターネット出願情報入力後、申込確認ページよりA4サイズでカラー印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください(普通紙印刷で糊付け可)。 (注) 印字されている内容に誤りがないか確認してください。 また、出願後、住所等が変更となった場合は、速やかに連絡してください。封筒は、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を使用し、書留速達で郵送してください。

○インターネット出願サイトでアップロード作業が必要なもの

出 願 書 類 等	留 意 事 項 等
証明写真データ	インターネット出願情報入力及び検定料支払い後、出願情報入力の完了メールに記載されているURLから、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 (注) 志願者本人と判別できるもので、カラー・上半身・無帽・正面向き・無背景のもの・出願前3ヶ月以内に撮影した100KB～5MBのjpg又はpng形式のデータを使用してください。

○その他必要な出願書類

出 願 書 類 等	留 意 事 項 等
大学入学共通テスト 成績請求票	「令和5共通テスト成績請求票 ^{推薦} 国公立推薦型選抜用」を出願確認票の所定の欄に貼って提出してください。 (注) 出願の時点で、「令和5共通テスト成績請求票 ^{推薦} 国公立推薦型選抜用」を受理していない場合は、「令和5共通テスト成績請求票 ^{推薦} 国公立推薦型選抜用」が貼られていない出願確認票とその他の出願書類と共に出願してください。「令和5共通テスト成績請求票 ^{推薦} 国公立推薦型選抜用」を受理次第、後日、追って別便で本学学務部入試課あてに郵送(簡易書留・速達)してください(令和4年12月26日(月)までに必着のこと)。なお、その際には、出願確認票をもう一度印刷して、共通テスト成績請求票を所定の欄に貼って提出してください。(郵送用の封筒は、各自で用意してください。)
調 査 書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものを同封してください。学習成績概評A段階に属し、人物、学力とも特に優秀で、出身学校長が責任をもって推薦できる者については、「学習成績概評」欄に㊸の標示とその理由を記載してください。

	<p>なお、新型コロナウイルス感染症の影響による、高等学校における臨時休校や大会、資格・検定試験の中止等を踏まえ、第3学年の評定、出席日数、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項の記載不可や記載が少ないこと等をもって、志願者を不利益に取り扱うことはありません。</p> <p><作成上の注意></p> <p>高等学校が定める学校運営の方針及び学校設定教科・科目等の内容や目標などに関する情報を備考欄に記載してください。</p>
<p>推薦書 (様式1)</p>	<p>本学ホームページ<https://www.u-fukui.ac.jp/>「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式をA4サイズで両面印刷の上、出身学校長が作成してください。様式の改変はしないでください。</p> <p><作成上の注意></p> <p>次の項目について、「求める学生像（1ページ参照）」に該当することがわかるように具体的事実をあげて作成してください。</p> <p>なお、パソコン等の使用も可としますが、機械印字文書を貼り付ける場合は、学校印等で割印してください。</p> <p>ア. 学業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の活動状況，勉学の自発性・計画性・持続性，探求心，観察力，理解力，洞察力，解決力及び論理的，創造的能力等につき，なるべく具体的事実をあげての所見 ・ 本人を推薦される根拠となった学業上の特別の事由及び志願するコースに対する勉学意欲等 <p>イ. 課外活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームルーム内での役員，生徒会の役員，体育祭・文化祭の実行委員歴等があれば，その学年，役職名及び活動状況 ・ 所属クラブ，クラブ内の本人の役割及び活動状況(例えば，都道府県大会での入賞，全国大会等での発表，出場，入賞及びその他高校生の年代での優れた研究・活動成果，あるいはこれら大会での組織者としての活動等の具体的内容) ・ 学校のクラブ活動以外での教育，文化，芸術，スポーツ(各種競技等の都道府県大会の入賞，全国大会等での出場，入賞及び文学・芸術作品の発表，入選等の活動)に関する活動があれば，その活動内容や加入団体名等 ・ ボランティア等の奉仕活動 <p>ウ. 人物・適性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人物・性格について，本人の特性(例えば，向上心，自律能力，社会性等)をよく表現するような具体的事実 ・ 本人の志願コースに対する適性及び意欲等 <p>エ. 特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 志願者の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考・判断力・表現力」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を記載してください。その際，志願者の努力を要する点などについても，その後の指導において特に配慮を要するものがあれば記載してください。

志願理由書 (様式2)	本学ホームページ< https://www.u-fukui.ac.jp/ >「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式をA4サイズで両面印刷の上、志願者本人が必ず自書してください。 <作成上の注意> 「求める学生像(1ページ参照)」に該当することがわかるようにできるだけ詳しく記入してください。
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- (注) 1. やむを得ない事由により調査書が得られない場合は、出願資格を証明する書類及び単位修得証明書等をもって調査書に代えることができます。ただし、出願前に学務部入試課に問い合わせ確認してください。
2. 参考資料として、留学、国際交流活動、スポーツ活動、文化・芸術活動、取得した資格などを証明するような資料(新聞報道等の写し、音楽会等のプログラム、作品の写真等)がある場合には、代表的なものを3点まで(大きさはA4サイズ)添付してください。資料は、重ねて貼り付けしないでください。
3. 本人の記載する資料として、志願理由書の他、高大連携に関連した行事やイベントに参加した時の学びの形跡がわかる資料がある場合には、資料の一部として提出してもかまいません。

(3) 検定料の支払方法

- 1) 検定料 17,000円
 検定料の他に、支払手数料が必要です。
- 2) 支払期間：令和4年12月5日(月)～12月16日(金) *出願期間とは異なります。
 *出願書類等は検定料支払い後に郵送が必要であり、出願期間最終日17時までに必着であることに特に注意して早めに支払ってください。
- 3) 支払方法
 コンビニエンスストア、銀行ATM(Pay-easyでの支払い)、クレジットカード(VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club)及びネットバンキングのいずれかで支払い可能です。

- (注) ・銀行窓口での支払いはできません。
 ・コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払いはできません。
 ・クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。
 ・支払手数料は、志願者本人の負担です。

○ 検定料返還に関する留意事項

出願書類を受領した後は、支払済の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ア. 検定料の全額返還請求ができる者
- ・検定料を支払い後、出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった者
 - ・検定料を誤って二重に支払った場合

イ. 検定料の返還請求の方法

①返還請求の理由、②志願者氏名・フリガナ(自署・押印)、③現住所、④連絡先電話番号、⑤志望学部・選抜区分名、⑥自己受取用の銀行名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義(フリガナ：志願者本人名義)を明記した検定料返還請求願(①～⑥が明記されていれば、特に様式は問いません)を作成し、必ず「出願確認票(提出用)」を添付して、令和5年3月31日(金)17時までに本学へ提出してください。

「提出(送付)先」 〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課
 電話 0776-27-9927

(4) 受験票の印刷

令和4年12月22日(木)～令和5年2月14日(火)に、インターネット出願登録サイトより受験票の印刷が可能になります。申込確認画面からログインし、A4サイズで印刷してください。

試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。なお、氏名等に間違いがある場合には、本学学務部入試課(連絡先 0776-27-9927)へ連絡してください。

(5) 大学入学共通テスト受験票の再発行申請者への注意事項

大学入学共通テスト受験票の再発行を申請した場合は、その旨を速やかに本学学務部入試課まで申し出てください。

4. 障がいのある入学志願者等の事前相談

本学入学志願者で、病気・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、以下のとおり本学学務部入試課(電話：0776-27-9927)に出願前申請を行ってください。

また、期限後にやむを得ない事情等により申請が必要となった場合には、速やかに電話等により相談してください。

(1) 出願前申請の期限

令和4年11月28日(月)まで

(2) 事前相談の申請方法や受験上の配慮の一例等

本学ホームページ<<https://www.u-fukui.ac.jp/>>「トップページ」→「受験生の方へ」→「入試情報・募集要項」内の「障がいのある入学志願者等の事前相談」から確認してください。

5. 選抜方法等

受験者は、本学受験票、大学入学共通テスト受験票及び筆記用具等を持参し、受付場所に集まってください。

選考日 令和5年1月21日(土)

受付時間 選抜区分が面接型(総合)、面接型(特別支援)：別途、書面により通知します。

選抜区分が面接型(家庭)、実技型(音楽)：8時～8時30分

受付場所 総合研究棟V(教育系1号館)1階

<試験科目及び試験開始時刻>

課程	選抜区分	志願コース	試験科目	試験開始時刻
学校教育課程	面接型(総合)	初等教育コース	個人面接(プレゼンテーション及び口述試験を含む。)	9時～ ※受付時間については、別途書面により通知します。
		中等教育コース		
	面接型(特別支援)	初等教育コース	個人面接(プレゼンテーション及び口述試験を含む。)	
	面接型(家庭)	初等教育コース	個人面接(プレゼンテーション及び口述試験を含む。)	
中等教育コース				
実技型(音楽)	中等教育コース	実技検査及び個人面接(口述試験を含む。)	9時～	

選抜区分：面接型（総合），面接型（特別支援），面接型（家庭）

大学入学共通テストの成績，個人面接（プレゼンテーション及び口述試験を含む。），調査書，推薦書及び志願理由書等を総合して選抜します。なお，大学入学共通テストと個別学力検査の配点は16ページを参照してください。

選抜区分：実技型（音楽）

大学入学共通テストの成績，実技検査及び個人面接（口述試験を含む。），調査書，推薦書及び志願理由書等を総合して選抜します。なお，大学入学共通テストと個別学力検査の配点は16ページを参照してください。

◎実技型（音楽）の実技検査内容

選択課題

A群①，A群②，B群，C群の中から選択する。

【A群①】ピアノを主とし，声楽を副とする

（1）ピアノ実技

下記の①②のピアノ曲2曲を暗譜で演奏

① 任意の独奏曲

② 次の（ア），（イ）いずれか1曲を選択して演奏

（ア）練習曲：ツェルニー40番程度以上の練習曲（ショパン，リスト，ドビュッシー等を含む）から任意の曲

（イ）バッハ：シンフォニアまたは平均律クラヴィア曲集から任意の曲
ただし，平均律はフーガのみ演奏

注1：いずれも繰り返しは省略すること。

2：途中で演奏を止めることがある。

（2）声楽実技

コンコーネ50番集より1番～20番までのうち当日指定する1曲を演奏

注1：高声用，中声用，低声用のいずれを選択してもよい。

2：暗譜の必要はない。自分の使用する楽譜を当日持参すること。

3：伴奏は伴奏担当者が担当する。伴奏譜は本学で用意する。

4：演奏の前におおよそのテンポを伴奏担当者に口頭で示すこと。

5：母音唱又は「ラ」等，階名唱（移動ド，固定ド）いずれも可とする。

【A群②】ピアノを主とし，管弦打楽器を副とする

（1）ピアノ実技

A群①の（1）ピアノ実技と同じ。

（2）管弦打楽器実技

演奏楽器は，オーケストラ，吹奏楽で通常使用される楽器に限る。楽器は各自持参してください。（判断が難しい場合は問い合わせをしてください。）

任意の1曲を演奏すること。

注1：伴奏はなしで演奏すること。出願時に必ず楽譜を添付のこと。

2：繰り返しは省略すること。

3：途中で演奏を止めることがある。

【B群】 声楽を主とし、ピアノを副とする

(1) 声楽実技

芸術的歌曲2曲（日本歌曲，オペラまたはオラトリオの aria も可）を暗譜で演奏

注1：伴奏は伴奏担当者が行うため，出願時に必ず伴奏譜を添付のこと。

2：譜めくりの必要がないように伴奏譜を横一列（屏風型）に貼り合わせておくこと。

3：楽譜にはおおよそのテンポをメトロノーム記号（♩=60等）で記しておくこと。

4：外国語の歌曲については原語で演奏すること。歌曲の調性は出版されている楽譜に掲載されている調であれば自由（手書き，パソコンによる移調は不可）。aria については原調・原語で演奏すること。ただし，イタリア古典歌曲の aria については，その限りではない。

(2) ピアノ実技

古典派のソナチネ，ソナタより任意の1曲の第1楽章又は終楽章（緩徐楽章を除く）を暗譜で演奏

注1：繰り返しは省略すること。

2：途中で演奏を止めることがある。

【C群】 管弦打楽器を主とし，ピアノを副とする

(1) 管弦打楽器実技

演奏楽器は，オーケストラ，吹奏楽で通常使用される楽器に限る。楽器は各自持参してください。（判断が難しい場合は問い合わせをしてください。）

任意の1曲を演奏すること。

注1：伴奏はなしで演奏すること。出願時に必ず楽譜を添付のこと。

2：繰り返しは省略すること。

3：途中で演奏を止めることがある。

(2) ピアノ実技

B群(2)のピアノ実技と同じ。

<受験上の注意>

- 1) 試験開始時刻に遅刻した場合は，試験開始時刻から30分以内の遅刻に限り，受験を認めます。
- 2) 本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合には，失格となります。
- 3) 計時機能以外の機能をもった時計の使用は認めません。
- 4) 携帯電話，スマートフォン等の電子機器類は，試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し，電源を切っておいてください。試験時間中に，これらをかばん等にしまわず，身に付けていたり手にもっていたりすると不正行為となることがあります。
- 5) 試験終了までは，退室を認めませんが，体調不良となった場合やトイレ等やむを得ない場合には，挙手して監督者の指示に従ってください。
- 6) 監督者の指示に従わない場合や，不適切な行為のあった者には退室を命じることがあります。
- 7) 受験票のほかに試験時間中，机の上に置けるものは，鉛筆(HB又はB)，鉛筆キャップ，シャープペンシル(HB又はB)，消しゴム，鉛筆削り，時計，メガネ，ハンカチ，ティッシュペーパー(中身だけ取り出したもの)，目薬です。

- 8) 面接の終了時刻は、受験者により異なります。
- 9) 試験当日等に、JR福井駅や試験場周辺で合否電話やメール等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係ないので十分注意してください。

6. 合格者発表

令和5年2月14日(火) 10時

本学ホームページ<<https://www.u-fukui.ac.jp/>>の「受験生の方へ」内に合格者の受験番号を発表するとともに、合格通知書及び入学手続関係書類を郵送します。不合格者への通知は行いません。なお、入試課掲示板での合格者発表は行いません。

また、出身学校長には当該校からの志願者全員の結果通知書を郵送します。電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

7. 入学手続

合格者には、合格通知書とともに「入学手続要項」等を送付するので、内容をよく確認して手続を行ってください。

(1) 入学手続期間・方法

令和5年2月16日(木)～20日(月)17時までに必着

入学手続書類等は、本学所定の封筒に同封のうえ、学務部入試課へ郵送(書留速達)するものとし、入学手続期間内に必着とします(期限前到着は可、持参提出は不可)。

(2) 入学手続時に要する経費

1) 入学料 282,000円(予定額)

2) 授業料 前期分 267,900円【年額535,800円】(予定額)

入学時又は在学中に入学料・授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の額が適用されます。入学料・授業料の納入方法は、合格者に送付する「入学手続要項」で通知します。

(3) 留意事項

1) 合格者は、入学手続期間内に入学手続を完了してください。

なお、入学手続を完了しない場合は、学校推薦型選抜合格者としての権利を失います。

2) 学校推薦型選抜の合格者は、入試の趣旨からみて入学手続を行い入学するのが当然であることから、前期・後期日程の合格者とはなりません。

入学手続を完了したときは、これを取り消して、他の国立大学へ入学手続をとることは認められません。

ただし、特別な事情により入学辞退の必要が生じ、令和5年2月20日(月)15時までに、出身学校長から「学校推薦型選抜入学辞退願(様式任意)」(具体的な理由を明記し、本人が署名・押印したもの)を本学学長あてに提出し、入学辞退を許可された者を除きます。

3) 大学入学共通テストを受験した者の学校推薦型選抜の合格者については、他に出願済の大学・学部を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。

4) 入学手続において、「令和5年度大学入学共通テスト受験票」を提出してください(手続き後、速やかに返却します)。

5) 学校推薦型選抜合格者は、入学又は入学辞退のいずれの手続も行わないまま放置することがないように留意してください。

8. 不合格となった場合の取扱い

学校推薦型選抜不合格者は、本学を含む、国公立大学の一般選抜を受験できます。

ただし、この場合は、令和5年度大学入学共通テストの指定教科・科目の受験、一般選抜の検定料の納付や出願書類の提出等、一般選抜出願先が定める手続が必要です。早めに本学ホームページ上にある当該学生募集要項を入手し、志願者本人が熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。学校推薦型選抜Ⅱの合格者発表は、一般選抜の出願期限後なので、特に注意が必要です。

9. 大学入学共通テストの活用教科・科目と個別学力検査の配点等

学部・課程・コース名	大学入学共通テストの活用教科・科目名等		個別学力検査等の実施科目等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備考									
	選抜区分	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験区分	国語				数学					理科		外国語		実技等		調査書等		配点合計
							国語	地理歴史	公民	①	②	③	④	⑤		⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
教 育	面接型(総合) 初等教育コース(10) 中等教育コース(4)	国語 地理歴史 公民 数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ・数学B 物理 化学 生物 地学 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1	「国」, 「地A」, 「地B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」, 「地理C」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」, 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1 「国」, 「地A」, 「地B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」, 「地理C」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」, 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1 「国」, 「地A」, 「地B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」, 「地理C」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」, 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1 「国」, 「地A」, 「地B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」, 「地理C」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」, 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1	実技等 調査書等	「面接(プレゼンテーション)および口述試験を含む。」 「調査書」, 「情報」, 「本人の記載する資料(志願理由書)」 ※調査書, 推薦書, 志願理由書は面接の際に活用する	共通テスト	100	50	50	50	100	100	100	100	100								450	
						計	100	50	100	100	100	100	100	100	100									
学 部	初等教育コース 学校推薦型選抜Ⅱ(16) 中等教育コース 学校推薦型選抜Ⅱ(8)	国語 地理歴史 公民 数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ・数学B 物理 化学 生物 地学 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1	「国」, 「地A」, 「地B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」, 「地理C」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」, 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1 「国」, 「地A」, 「地B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」, 「地理C」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」, 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1 「国」, 「地A」, 「地B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」, 「地理C」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」, 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1 「国」, 「地A」, 「地B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」, 「地理C」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」, 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1	実技等 調査書等	「面接」, 「面接(口述試験を含む)」, 「調査書」, 「情報」, 「本人の記載する資料(志願理由書)」 ※調査書, 推薦書, 志願理由書は面接の際に活用する	共通テスト	100	50	50	50	100	100	100	100	100								450	
						計	100	50	100	100	100	100	100	100	100									
部	実技型(音楽) 中等教育コース(2)	国語 地理歴史 公民 数学Ⅰ・数学A 数学Ⅱ・数学B 物理 化学 生物 地学 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1	「国」, 「地A」, 「地B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」, 「地理C」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」, 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1 「国」, 「地A」, 「地B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」, 「地理C」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」, 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1 「国」, 「地A」, 「地B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」, 「地理C」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」, 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1 「国」, 「地A」, 「地B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」, 「地理C」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」, 「英」, 「仏」, 「中」, 「獨」, から1	実技等 調査書等	「面接」, 「面接(口述試験を含む)」, 「調査書」, 「情報」, 「本人の記載する資料(志願理由書)」 ※調査書, 推薦書, 志願理由書は面接の際に活用する	共通テスト	100	50	50	50	100	100	100	100	100								450	
						計	100	50	100	100	100	100	100	100	100									

*印は選択を示します。

(1) 大学入学共通テストの教科・科目名等の略記について

大学入学共通テストの教科・科目名等は次のように略記しています。

- 国語→国, 地理歴史→地歴, 世界史A→世A, 世界史B→世B, 日本史A→日A, 日本史B→日B,
- 現代社会→現社, 倫理→倫, 政治・経済→政経, (倫理, 政治・経済)→倫・政経
- 数学①→数①, 数学②→数②, 数学→数, 数学Ⅰ→数Ⅰ, 数学Ⅱ→数Ⅱ, 数学Ⅲ→数Ⅲ,
- 数学A→数A, 数学B→数B, 簿記・会計→簿, 情報関係基礎→情報
- 理科①(基礎を付した科目)→理①, 理科②(基礎を付していない科目)→理②
- 外国語→外, 英語→英, ドイツ語→独, フランス語→仏, 中国語→中, 韓国語→韓

(2) 注意 (学校推薦型選抜Ⅱ)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

- 受験することを課した教科・科目において、指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、大学入試センターからのデータに基づいて高得点の教科・科目の成績を用います。
ただし、「地歴」、「公民」及び「理②」の科目において、本学が1科目を課す場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。
- 「理①」及び「理②」から3科目を受験している場合は、「理①」2科目合計の得点又は「理②」の得点のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。
- 「地歴」、「公民」と「理②」で4科目受験している場合（「地歴」、「公民」2科目+「理②」2科目）、以下のようにな成績を用います。
 - ① 「地歴」、「公民」の第1解答科目
 - ② 「理②」の第1解答科目
 - ③ 「地歴」、「公民」及び「理②」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- 「地歴」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- 「簿」、「情報」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- 外国語「英」は、リーディングの得点（100点満点）を150点に、リスニングの得点（100点満点）を50点に換算し、合計得点（200点満点）を本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除されている場合には、「英」のリーディングの得点（100点満点）を本学の配点に換算します。

Ⅲ. 個人情報利用

出願書類等に記載された個人情報(成績判定に関する情報を含む)は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備、④入試の改善や志願動向等の調査に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合、及び、本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用したり、福井大学の教職員以外に提供したりしません。

- 1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供する場合
- 2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合(なお、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すことになります。)
- 3) 提出された出願書類等の個人情報を、当該本人の権利利益を不当に侵害するおそれがない範囲で、学術研究の目的のために提供する場合

なお、国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、学校推薦型選抜の合格及び入学手続き等に関する個人情報(氏名及び大学入学共通テスト受験番号に限る)を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

また、出身学校長には、合否を文書で通知します。

【問い合わせ先】 福井大学学務部入試課

IV. 入学志願者のための案内

1. 教育学部の紹介

教育学部には、小学校、特別支援学校、幼稚園などの教員を養成する「初等教育コース」と、中学校、高等学校などの教員を養成する「中等教育コース」の2つのコースがあります。

初等教育コースでは、小中一貫教育や幼少連携教育、地域と連携した教育、特別支援教育など現在の学校教育の課題を解決していく能力を備えた小学校教員、特別支援学校教員を養成します。

また、中等教育コースでは、中高一貫教育などを見据え、高度で体系的な専門知識を持って、主体的で協働的な学習を構想し実践することのできる中学校、高等学校教員を養成します。

○学位及び教員免許状

教育学部学校教育課程の卒業者は学士（教育学）の学位が授与されます。なお、学校教育課程で取得可能な教員免許状は次のとおりです。

コース	サブコース	小学校		中学校			高等学校		特別支援学校		幼稚園		
		1種	2種	1種	2種	免許教科	1種	免許教科	1種	2種	1種	2種	
初等教育	小学校教育	◎		○*	○*	国語、英語、 社会、数学、 理科、技術、 家庭、音楽、 美術、保健体育	○*	国語、英語、 地理歴史、公民、 数学、理科、 工業、家庭、 音楽、美術、 保健体育	○	○	○	○	
	特別支援教育	◎		○*	○*		○*		◎		○	○	
中等教育	人文社会教育	○	○	◎	○*		○*		○	○			
	理数・生活教育	○	○	◎	○*		○*		○	○			
	芸術・スポーツ教育	○	○	◎	○*	○*	○	○					

◎卒業要件となっている免許

○必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。

○*免許教科に係る必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。

※ただし、所属するサブコースによって取得できる免許状の種類・教科の数には制限があります。

2. 入学時の諸経費

(1) 入学料、授業料

種別	金額	備考
入学料	282,000円 (予定額)	入学時1回限り
授業料	年額 535,800円 (予定額)	年2回（前期5月、後期11月）に分けて納入してください。また、申し出により前期分を納入の際に後期分（前期と同額）も一括して納入することができます。なお、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

入学料免除・徴収猶予及び授業料免除・徴収猶予

「大学等における修学の支援に関する法律」により、日本学生支援機構給付型奨学金受給者は、入学料・授業料の全部または一部が免除となります。

また、経済的理由により入学料等の納付が困難であると認められた者に対しては、申請により選考の上、入学料及び授業料の徴収を猶予することがあります。

詳細は、本学が送付する入学手続要項及び本学ホームページ等でお知らせします。

(2) 保険

傷害保険及び賠償責任保険

本学では、教育研究活動中の事故を補償するために、入学時に学生全員が下記の傷害保険及び賠償責任保険に加入することを原則としています。

学生教育研究災害傷害保険(通学特約付) 保険料 4年間分 2,650円

学研災付帯賠償責任保険 保険料 4年間分 1,360円

なお、大学生協等で同等の傷害保険及び賠償責任保険に加入している場合はこの限りではありません。

3. 学生生活

(1) 奨学金制度

学部・大学院に在学する学生で、人物・学業ともに優秀であり、経済的理由により修学が困難と認められる者に対しては、独立行政法人日本学生支援機構や大学独自奨学金及び都道府県・公益法人等の奨学金制度があります。

○ 独立行政法人 日本学生支援機構の奨学金

<給付型>

日本学生支援機構が定める基準を満たし、奨学生に採用された場合、「高等教育の修学支援新制度」の支援を受けることができる、原則として返還義務のない奨学金です。世帯の所得金額に基づき判定された支援区分、通学形態（自宅・自宅外）等により、支援額が決定します。

詳細は下記ホームページにて確認してください。

- ・ 文部科学省（高等教育の修学支援新制度）

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.html

- ・ 日本学生支援機構（奨学金の制度（給付型））

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

<貸与型>

「第一種奨学金（無利子）」と「第二種奨学金（有利子）」があり、経済状況や学業成績をもとに採用者を決定します。

なお、日本学生支援機構が定める学業成績・収入基準を満たす場合には、「第一種奨学金」及び「第二種奨学金」の併用貸与を受けることもできます。

貸与型の奨学金なので、卒業又は退学後は、必ず返還しなければなりません。

種類及び貸与月額（学部学生）

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	【自宅月額（自宅通学者）】 ・ 最高月額 45,000円 ・ 最高月額以外 20,000円又は30,000円 【自宅外月額（自宅外通学者）】 ・ 最高月額 51,000円 ・ 最高月額以外 20,000円又は30,000円 又は40,000円	無利子 ※自宅外通学者は「自宅月額」「自宅外月額」の中から月額を選択することが可能。 ただし、申込時における家計支持者の年収が一定額以上の場合は各区分の最高月額以外の月額から選択する。 ※給付奨学金と併せて貸与を受ける

		場合、貸与月額が調整されます。
第二種奨学金	20,000円から120,000円までの1万円単位の金額の中から選択	有利子（在学期間中は無利子） 利率は固定型、又は見直し型より選択

貸与の基準や金額等については変更される場合がありますので、奨学金の利用を予定している年度の開始前（3月初旬以降）に、日本学生支援機構のホームページ（<https://www.jasso.go.jp/>）にて改めて確認してください。

○ 大学独自奨学金

◆福井大学基金予約型奨学金

福井大学への進学を強く希望している受験生（現役生対象）に対し、入学後の修学に必要な経済的支援を行うことを目的とした奨学金です。入試出願前に奨学金を申請して、内定した方が入試に合格し入学した場合、所定の手続きを取ることで入学後に30万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

詳細は、本学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）「トップページ」→「受験生の方へ」内の「学生生活」福井大学基金予約型奨学金から確認してください。

◆福井大学学生修学支援奨学金

福井大学基金及び福井大学運営費による給付型奨学金制度です。経済的困窮度の高い者から選考します。募集時期は秋頃です。

◆福井大学生協奨学金

福井大学生協生活協同組合からの寄附金による奨学金制度です。経済的困窮度の高い者から選考します。募集時期は秋頃です。

○ 都道府県・公益法人等の奨学金

これらの奨学金については、入学後、奨学生の募集がある場合に随時、案内します。

*奨学金制度等を利用する際に、入学試験の成績や出身学校長から提出された調査書を必要とする場合には、各奨学団体等へこれらの情報を提示する場合があります。

(2) 課外活動

正規の教育課程のほかに、学生が豊かな情操を養い、体力を鍛え、将来社会において役立つ経験を積むため、教育の一環としてクラブ活動を認め、かつ、奨励しています。

(3) 健康診断

学生の定期健康診断を、毎年春季に行っています。

また、日々の健康管理のため、文京キャンパスに保健管理センターがあり、身体面・精神面の健康について医師・臨床心理士・看護師・保健師に相談をすることができます。

(4) 相談窓口

履修、生活、就職、人間関係など学生生活の中でのいろいろな問題について、相談に応ずる体制が整っています。

(5) 学生宿舎

本学には、次のような学生宿舎があります（外国人留学生との混在で、男女は階別）。

11月上旬に大学のホームページに入居者募集要項を掲載しますので、入居希望者は内容をよく確認し、入居申請準備をしてください。

名 称	定員	新入生入居 募集人員	構 造	室定員	寄宿料	光熱水料等	所 在 地
国際交流 学生宿舎	209人	約30人	鉄筋 コンクリート 5階建1棟 4階建2棟	1人	月額 5,800円	月額 約10,000円 退去クリーニング費等 約20,000円 (入居時前払い)	福井市文京5-13-10 (文京キャンパスか ら徒歩約8分)

※寄宿料については改定（値上げ）する場合があります。

(6) その他

よりよい学生生活のために食堂、売店などの福利厚生施設があります。また、遠隔地の学生のために下宿・アパート等の紹介を行っています。

詳細は、福井大学生生活協同組合（電話0776-21-2956）に問い合わせてください。